

## 編集後記

任満了により今号をもって編集幹事を退くことになりました。ほぼ丸2年分の原稿ファイルが手許に残っています。かなりのボリュームがあります。原稿を提供してくれた方、また熱心に読んで下さった方々に感謝したいと思います。

今回は山本 聡さんにゲストエディターをお願いし、特集「小惑星レゴリスの起源と進化」を組んで頂きました。出発点になったWSのマネジメントも含めて、大変な労力を割いて首尾一貫した特集を仕上げてもらいました。締めきり厳守の秘策を講じてくれたおかげで、こちらの編集作業もはかどったことも記しておきたいです。

この号がお手許に届くころにはもう21世紀です。20世紀は人類が地球の有限性を発見した世紀、言い換えるば、人類が地球を作り変えることができることを証明した世紀であったとも言えるでしょう。現在世界中の人々が直面している環境問題と情報革命の特質は、その影響が汎地球的であるという点にあります。21世紀は、いかに地球をコントロールしデザインするか、その意志決定がさらにクローズアップされてゆくに違いありません。私たちは地球をまるごと一つの惑星として考える思考法に強いはずで、21世紀最初のお正月、こたつを囲みながら地球をどうデザインするか意見を出し合ってみるのも面白いのではないのでしょうか。

倉本 圭

**編集委員**

井田 茂 [編集長] 倉本 圭 [幹事] 山本 聡 [ゲストエディター]

荒川 政彦 飯島 祐一 加藤 工 北島富美雄 木村 眞 小林 憲正 小林 直樹 佐々木 晶

高木 靖彦 高田 淑子 田近 英一 中村 良介 平田 岳史 松島 弘一 米田 成一 渡部 潤一

2000年12月25日発行

**日本惑星科学会誌 遊・星・人 第9巻 第4号**

定 価 一部 1,750円 (送料含む)

編集人 井田 茂 (日本惑星科学会編集専門委員会委員長)

〒152-8551 東京都目黒区大岡山2-12-1 東京工業大学大学院理工学研究科  
地球惑星科学専攻

印刷所 〒135-0011 東京都江東区扇橋3-5-10 星光社

発行所 〒113-8622 東京都文京区本駒込5-16-9 学会センターC21

日本学会事務センター内 日本惑星科学会

TEL 03-5814-5801 FAX 03-5814-5820

本誌に掲載された寄稿等の著作権は日本惑星科学会が所有しています。

**複写される方へ**

本誌に掲載された著作物を個人的な使用の目的以外で複写したい方は、著作権者から複写権等の行使の行使の依託を受けている次の団体から許諾を受けて下さい。

著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接日本惑星科学会へご連絡下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル 学術著作権協会

TEL: 03-3475-5618, FAX: 03-3475-5619

E-mail: kammori@msh.biglobe.ne.jp

# 学会誌原稿作成の手引

日本惑星科学会編集専門委員会

## 1. 原稿の様式

はじめに委員長宛に投稿するときはプリントアウトした原稿2部，最終稿では原稿2部（1部に字体，図表の位置指定）とテキストファイルを提出すること。原稿は，原則として，ワープロにより作成されたものとする。また，テキストファイルはフロッピーまたは電子メールで送付のこと。テキストファイル以外の場合は事前に編集幹事に相談のこと。

## 2. タイトル

記事のタイトルは15字以内。また，タイトル，筆者名及び所属を和文・英文両方で付す。

## 3. セクション

セクションは1., 2., ..., サブセクションは1.1, 1.2, ..., 細区分は(1), (2), ..., の記号を頭に於いて，左寄せ，行末改行とする。また文中での区分けは(a), (b), (c)を用いる。これら記号はすべて半角文字を用いる。セクションタイトルは12文字以内で簡潔に，また，セクションタイトルとして“はじめに”，“おわりに”，“まとめ”は避ける。

## 4. 述語

専門用語はなるべく避けるか，十分な説明をつける。特に，対応する日本語がある場合，英語・英略語は使わない。

## 5. 字体

数字，英字は半角とする。また(, ), [, ], :, ;など区切り記号も半角を用いる。本文は立体(ローマン)，数式はイタリックで組む。本文中のイタリックは下線，数式中の立体(ローマン)は2重下線，ゴチック(ボールド)は鼓下線で朱記指定する。

## 6. 単位

使用単位については特に統一しない。ただし， $\text{gcm}^3$ ， $\text{cms}^{-1}$ などとはせず， $\text{g/cm}^3$ ， $\text{cm/s}$ とする。

## 7. 句読点

句読点は全角の“，”，“。”を用いる。

## 8. 図，表，画像

文中での図表の引用は“図1”，“表2”の形をとる。最終項送付に際して，図表，画像の刷り上がり時の大きさと位置を指定のこと。画像の投稿については，1) 写真の場合：印刷時実寸以上のサイズで鮮明なもの，2) 画像ファイルの場合：印刷時実寸で350dpi相当以上，形式はtiffが望ましい。他の文献から図表を転載する場合には予め編集委員会に照会のこと。

## 9. 脚注

脚注は“1”などの記号をつける。

## 10. 文献の引用

引用文献は重要なものに限る。目安として10項目以内にする。本文中での引用は[1]，[2]の形で通し番号をつけ，論文の末尾に一括してリストを載せる。使用言語は原論文に従い。論文名は省略する。3人以上の著者はet al.または他と表記する。形式は以下に従う。

### 参考文献

- [1] Wakusei, T. and Kinsei, S., 1989: *Astrophys.* **220**, 293-330.  
 [2] Wakusei, T. et al., 1999: *J. Geophys. Res.* **123**, 4567-4572.  
 [3] 惑星太郎, 1992: *天文月報* **85**, 186-190.

## 11. 原稿の送付先

投稿時の原稿送付先は

152-8551 東京都目黒区大岡山 2-12-1

東京工業大学大学院理工学研究科

地球惑星科学専攻 井田 茂

FAX: 03-5734-3538

E-mail: ida@geo.titech.ac.jp

最終稿の送付先は

464-8602 名古屋市千種区不老町

名古屋大学理学研究科地球惑星理学専攻

城野信一

FAX: 052-789-3013

E-mail: sirono@eps.nagoya-u.ac.jp